

英語利用中学入試 テスト分析

※東京都市大学等々力中学校※

～概要～

- ・試験形式：60分。語彙文法、整序作文、会話文読解、長文読解、日本語論述、自由英作文の多岐にわたる構成。
：単なる英語のテストに留まらず、英語で得た情報を日本語で論理的に説明する「思考力」と、自分の意見を英語で発信する「表現力」の両方が問われる。
- ・設問概要：大問1-2：語彙・文法・整序問題。ことわざや会話表現も含む。：大問3：会話文読解（観光公害/オーバーツーリズムについて）。：大問4：科学論文読解（Nature Energy出典：CO2の資源化技術）。ここに300字以上の日本語論述が含まれるのが最大の特徴。：大問5：自由英作文（コンピュータゲームの是非、80-100語）。
- ・時間配分予想：60分間でこれだけの分量をこなすのはハード。特に大問4の「日本語論述」と大問5の「英作文」に時間を残すため、前半の文法・会話文はスピーディーに処理する必要がある。

～文法・語彙・整序問題～

- ・形式：空所補充（4択）と整序問題。
- ・ポイント：経済用語（demand）や感情表現、ことわざ（A journey of a thousand miles begins with a single step）など、幅広い語彙力が問われる。

～会話文・長文読解～

- ・形式：AIセミナーや観光公害（オーバーツーリズム）に関する会話文。：科学論文記事（二酸化炭素をギ酸に変換する技術）。
- ・ポイント：長文は科学的な内容（Nature Energy出典）で、専門用語（formic acid, reactor）を含む本格的なもの。内容一致に加え、段落挿入などの構成把握力も必要。

～必答論述問題（日本語）～

- ・形式：長文（CO2削減技術）の内容を踏まえ、環境を守る解決策と学校生活での学びについて、300～350字の日本語で論述する。
- ・ポイント：英語力だけでなく、思考力と日本語の表現力が重視される。本文の「発想の転換（CO2を資源に変えるループ）」を理解した上で、自分の意見を展開する必要がある。

～自由英作文～

- ・形式：「コンピュータゲームは子供に悪いか」について意見を述べる。
- ・語数目安：80～100語。
- ・ポイント：賛成・反対の立場を明確にし、理由をサポートする典型的なオピニオンエッセイ。

～総評～

- ・傾向と対策：英語の難易度は英検2級～準1級レベルの科学記事が含まれる。：最大の特徴は日本語による論述。英語でインプットし日本語で論理的にアウトプットする「バイリンガルな思考力」が求められるため、ニュース記事を読んで要約・意見交換するトレーニングが有効です。インターTOMASでは、「日本語による論述（要約・意見記述）」についても、個人別カリキュラムを組むことで、英語の長文を読みながら、その内容を日本語でロジカルに再構成するハイレベルな指導が可能です。